

●あけましておめでとうございます。新しい年がスタートしました。

① 御所沼の水抜きと護岸の補修が実施されます。



御所沼(水抜き前)



(水抜き後)

『御所沼の水抜き』が1月4日から始まりました。「なぜ水抜きをする必要があるの?」と疑問を抱く人もいるかと思いますが。その理由は、「沼の水質浄化と護岸の補修を目的」に実施しています。年一回、溜まっていた水を抜き、かわりにきれいな井戸水を補充します。そうすることで過剰に栄養素を含んだ水を排出し、池の底を空気にさらすことで微生物による分解をうながし水質が浄化する効果があると考えられているからです。

来園者や多くの水鳥たちが憩える「御所沼」を少しでも良い環境を維持出来るよう目指しています。



② 皆さんおなじみ『カルガモ親子のお引越』

「今の時期の見所は何ですか?」とよく聞かれます。冬の公園は花や葉などが少なくなる時期です。それならではの違った楽しみ方をご紹介します。花や葉がないからこそ、見通しがきき、「野鳥の観察」にはうってつけです。林や水辺の鳥の観察を楽しんでみてはいかがでしょうか。



★皆さんおなじみの「カモ科のカルガモ」黄色い口ばしが特徴です。この鳥はオスもメスも同じ色をしています。こちらは留鳥なので一年中見ることができます。

③ 刈り取った草や落葉、木々のその後は?

刈り取った草を、落ち葉などと一緒にまとめて溜めておくと、時が立つと腐葉土となります。そこがカブトムシなどの発生地にもなります。廃棄物ではなく、森の大切な資源としてリサイクルしています。他にも枯れ枝などを細かくチップにし、園路に敷くなど再活用しています。

④ 公方様の森・・・美しい姿に変身中

日本の自然林を活かした雑木林を維持するために、ササ刈りを行っています。ササの草丈が低くなると、地表面近くまで光が届くようになり、小さな植物も生き残り、開花・結実することができます。刈られて背丈が抑えられた植物も同様に開花・結実することが出来ます。このような手入れをすることで、その環境の変化によって、より多くの種類の植物が生育できるようになります。

長い年月をかけて、多様な生物・植物が入れ替わる風景を「公方様の森」で鑑賞してみてもいいでしょうか。



ササ(刈り取り前)



枯れ枝を細かくチップ状に



ササ(刈り取り後)



●ますます寒くなっていますが、てくてく情報、次号もお楽しみに!